



内閣総理大臣杯
第 56 回日本社会人ゴルフ選手権
競 技 規 則

開催日：令和 7 年 11 月 13 日(木)、14 日(金)
会 場：宝塚ゴルフ倶楽部・新コース
主 催：スポーツニッポン新聞社

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に記載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2 罰打）」となる。

【ローカルルール】

1. アウトオブバウンズ（規則 18.2）
アウトオブバウンズ（OB）は白杭および白線のコース側を地表レベルで結んだ線によって定める。
2. ペナルティーエリア（規則 17）
 - (a) レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。線と杭が併用されている場合は線がその縁を定める。
 - (b) 3 番ホール左側にある、赤黒杭によって定められるレッドペナルティーエリアの中の区域はプレー禁止区域である。球がそのペナルティーエリアの内側でそのプレー禁止区域の中にある場合、その球をあるがままにプレーしてはならず、規則 17.1e に基づいてそのプレー禁止区域による障害からの救済を受けなければならない。
3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則 16）
 - (a) 修理地
白線で囲まれた区域。
 - (b) 動かさない障害物
 - (1) 排水溝
 - (2) 人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。
 - (3) 白線の区域と動かさない障害物がつなげられている場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
 - (c) 電磁誘導カート用の軌道
電磁誘導カート用の軌道は、2 本のレールの全幅をもってカート道路とみなす。
4. 特定の用具の使用制限
 - (a) ローカルルールひな型 G-1（適合ドライバーヘッドリスト）を適用する。
 - (b) ローカルルールひな型 G-2（溝とパンチマークの仕様）適用する。
 - (c) ローカルルールひな型 G-3（適合球リスト）を適用する。
 - (d) ローカルルールひな型 G-7（ゴルフシューズ）を適用する。
 - (e) ローカルルールひな型 G-9（壊れた、または著しく損傷したクラブの取り替え）を適用する。
 - (f) ローカルルールひな型 G-10（46 インチを超える長さのクラブの使用を禁止）を適用する。
5. プレーの中断と再開（規則 5.7）
 - (a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)
委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。
このローカルルールの違反に対する罰：失格
即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。
 - (b) 通常中断(日没やコースがプレー不能)
規則 5.7b、c、d に従って処置すること。
 - (c) プレーの中断と再開の合図

即時中断 : 1 回の長いサイレン
通常の中断 : 連続する短いサイレン
プレーの再開 : 1 回の長いサイレン



と同時にカートに搭載の無線を通じて
プレーヤーに連絡する。

6. 練習 (規則 5.2)

- (a) ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。
- (b) ラウンド前とラウンドとラウンドの間の練習
規則 5.2b は次の通り修正する：
プレーヤーはその日の自分の最終ラウンドのプレー終了後にそのコース上で練習してはならない。ただし、指定練習区域を除く。
このローカルルールの違反に対する罰：
最初の違反の罰 : 一般の罰 (プレーヤーの最初のホールに適用される)
2 回目の違反の罰 : 失格

7. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰：

- ・違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。
- ・違反がホールとホールの間起きた場合、プレーヤーは次のホールに対して一般の罰を受ける。
または違反がホールとホールの間まで継続した場合、プレーヤーは次のホールに対しても一般の罰を受ける。

【競技の条件】

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. プレーの条件

11 月 13 日(木) 第 1 ラウンド 18 ホール・ストロークプレー

11 月 14 日(金) 第 2 ラウンド 18 ホール・ストロークプレー

4. スコアカードの提出

本競技においてはスコアリングエリア方式を採用する (プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

5. タイの決定

レギュラークラス、シニアクラスともに所定のホールが終わり、1 位にタイが生じた場合は、即日委員会の指定するホールにおいてホールバイホールのプレーオフを行い、優勝者を決定する。なお、3 人以上でプレーオフが行われる場合、優勝者以外の競技者は 2 位タイとする。

6. 競技の結果

競技の結果は競技委員会により最終成績発表がなされた時点をもって終了となる。

7. ティーマーカー

本競技のティーマーカーはレギュラークラスは青、シニアクラスは黄とする。

【注意事項】

1. 大会当日の受付、フロント、打球練習場、レストランのオープン時間は 6 : 00 とする。
2. 競技の条件やローカルルールに追加変更のあるときは、クラブハウス内掲示板とスターターズテント内に掲示して告知する。
3. スタート時刻 40 分前にはクラブハウス内で大会受付とコースフロント受付を済ませ、スタート時刻 10 分前には必ずティーインググエリア周辺で待機すること。但し、欠場者が出た場合は組み合わせを変更する場合がある。
4. プレーの進行に留意し、前の組との間隔をあげないよう注意すること。不当な遅延、スロープレーについては、規則 5.6a により罰せられることがある。
5. ローカルルール 6 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
6. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すこと

ができる。

7. 競技委員会は規則 1.2 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーに対して「行動規範」(大会公式 HP 参照) に基づき罰を課すことができる。
8. 失格など競技委員会の決定について、抗議、その他のクレームは一切認めない。
9. 練習は指定練習場で行うこと。打球練習場は備え付けの球を使用し、1 人 1 カゴ (24 球) を限度とする。
10. アプローチ練習場、バンカー練習場は自己の球を使用すること (1 人 5 個まで)。
11. 競技終了後のコース練習場の使用は各日とも 16:00 までとする。
12. 指定場所以外での喫煙は禁止する。電子タバコも含む。
13. コース内での携帯電話での通話は禁止とする。
14. 指定練習日および大会当日の服装およびエチケット・マナーに留意すること (ジーンズ、スウェット、T シャツ、サンダル、ハイヒールなど禁止)。
15. ギャラリーのゴルフ場内への立ち入りは禁止する。
16. 病気、事故等で参加を取り止める場合は必ず大会事務局に連絡すること。但し、この場合でも参加費の払い戻しはしない。大会前・スポニチ (TEL:03-3820-0651)、大会当日・コース (TEL:0797-71-2251)

17. 球がグリーン上にある場合、グリーンリーディング資料(ヤーデージブック、カートナビ等)の制限に違反した資料をプレーの線を読む支援として使用すると規則 4.3 の違反となる。

◇内閣総理大臣杯 第56回日本社会人ゴルフ選手権 ヤーテージ◇

宝塚ゴルフ倶楽部・新コース

ホール		1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	Total
ヤード	レギュラー	450	303	218	489	367	460	174	448	410	3,319	532	303	164	409	462	195	373	502	469	3,409	6,728
	シニア	450	303	205	489	352	425	174	424	410	3,232	532	303	152	376	439	195	373	490	445	3,305	6,537
パー		5	4	3	5	4	4	3	4	4	36	5	4	3	4	4	3	4	5	4	36	72

※コース状況により変更となる場合がある

競技委員長 石田 貴志